

静大クエストinテクノフェスタ

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2016-06-08
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 上田, 瑞恵, 宇佐美, 敦, 剣持, 太一, 柴田, 頼紀
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://doi.org/10.14945/00009495

静大クエスト in テクノフェスタ

○上田 瑞恵¹⁾、宇佐美 敦²⁾、剣持 太一³⁾、柴田 頼紀⁴⁾

(¹⁾ 教育支援部門、²⁾ フィールド支援部門、³⁾ 教育研究支援部門、⁴⁾ 情報支援部門)

1. はじめに

今年 11 月 7 日のテクノフェスタ in 浜松で技術部展示「静大クエスト」を実施した。静大クエストは昨年度の技術部研修で行ったグループワークの中で出たアイデアをもとに意見を出し合い形になったものである。地域貢献及び東西の若手技術職員の交流を目的とし、内容として技術部部門紹介等のパネルやフィールド支援部門の樹木のサンプルや木工品を配置した技術部展示と技術部に関するチェックポイントでヒントを集めゴールの場所を見つけ出し魔王を倒すことで景品が獲得できるポイントラリーを行った。

本報告は静大クエストの内容詳細及び参加者へ実施したアンケート結果を報告する。

2. 静大クエスト

2.1 平成 26 年度技術部研修

静大クエストを行うきっかけは昨年度に行われた技術職員を対象とした技術部研修（図 1）で行ったチーム作業である。このチーム作業では参加者が 2 グループに分かれてそれぞれ地域貢献への取り組みについてアイデアを出して実際に行うための実施時期や予算、内容について計画し最後にパワーポイントにまとめグループごとに発表を行った。

チーム作業では個々の専門分野に関してのアイデアを出し合うことでお互いの業務を知るきっかけとなった。

平成26年度技術部研修日程表

会 場：農学部附属地域フィールド科学教育センター（藤枝フィールド）

8:00 30 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 30 14:00 30 15:00 30 16:00 30 17:00 30 18:00 30 19:00																					
平成26年 10月23日(木)				移動 静岡・浜松 からマイク ロバス移動		休憩		受付／開会 技術部長挨拶		統括技術長講話 技術職員の職務上 の意見交換		自己紹介プレゼン チーム作業 自分の業務とは何か ～ 10年後の私について考 える		事務局長講話 静岡大学の現状と技 術職員の進むべき未 来		夕食準備		情報交換会		泊	
10月24日(金)		ハラスメントの防 止について 講話 DVD等		静岡大学教職員倫理規程について(講話)(職員課長)		チーム作業 地域貢献への取り組み 各グループで技術職員 が行える地域貢献プロ グラムの作成 予算、準備、実施計画 の作成		休憩		成果報告会		閉講式 移動 静岡・浜松へそれ ぞれマイクロバス 移動									

注1. 適宜休憩時間が入ります。

図 1 技術部研修日程表

2.2 静大クエスト

浜松キャンパスで毎年 11 月に行われているテクノフェスタで研究室展示部門から出展する際にアイデアを具体的に詰めていくことになった。メンバーはそれぞれ部門が異なるためメールで主にやり取りした。

静大クエストは技術部紹介展示と景品付きポイントラリーの大きく二つのパートに分けて実施することとした。

2.2.1 技術部紹介展示

技術部紹介展示は技術部部門紹介パネルやフィールド部門のパネル・樹木のサンプル・木工品を配置した。(図 2)

2.2.2 景品付きポイントラリー

景品付きポイントラリーは参加者にキットを渡し、技術部に関するチェックポイントをまわりヒントを集めてゴールの場所を見つけ出し魔王を倒すと景品がもらえる流れになっている。景品にはフィールドの間伐材しずびーを焼印した木製コースターを配布した。(図 4)



図 2 技術部紹介展示の様子

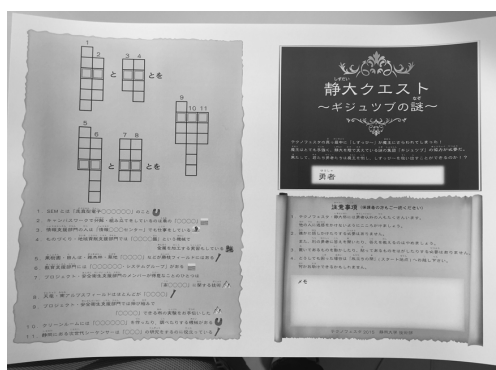


図 3 スタンプラリー用キット



図 4 景品用木製コースター

3. テクノフェスタ当日の様子

3.1 技術部紹介展示

技術部紹介展示は 1 号館 314 号室でポイントラリーの受付と同じ場所で行った。展示には本学 OB や親子連れ、スタンプラリー参加者が興味を持って見ていた。「ロボットに関係するところはどこですか」などの質問もあり小学生など小さな子供たちにも技術部に興味を持ってもらうきっかけになったのではと感じた。

3.2 景品付きポイントラリー

景品付きポイントラリーの受付は 1 号館 314 室で行い、ゴール及び景品配布を電子工学研究所棟 113 室で行った。ゴールでは、ヒントを集めてゴールを見つけ出した参加者が最後のクリア条件である魔王を倒すための勝負を行った。魔王の倒し方や部屋の雰囲気づくりなどを参加者に楽しんでもらうために工夫を行った。(図 5)



図 5 ゴールの様子

4. 「静大クエスト」 アンケート

4.1 アンケート概要

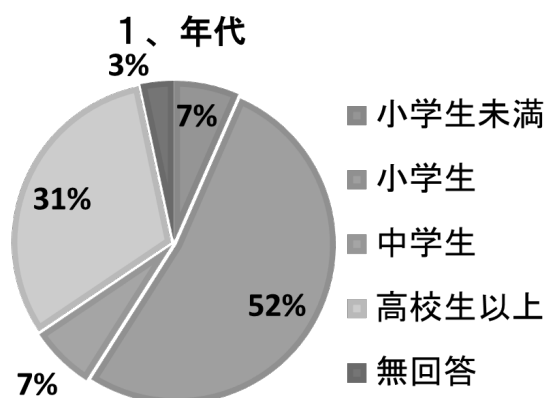
静大クエストでゴールに到着した参加者にアンケートに記入してもらった。アンケート項目を以下に示す。

アンケート質問項目

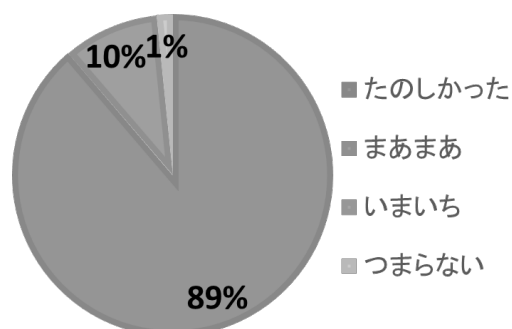
1. 年代
2. 静大クエストは楽しかったですか？
3. 難しさはどうでしたか？
4. 静大クエストについてどこで知りましたか？
5. 技術部を知っていましたか？
6. 技術部についてわかりましたか？
7. 寄り道をしましたか？
8. どこに寄り道しましたか？
9. 感想

4.2 アンケート結果と考察

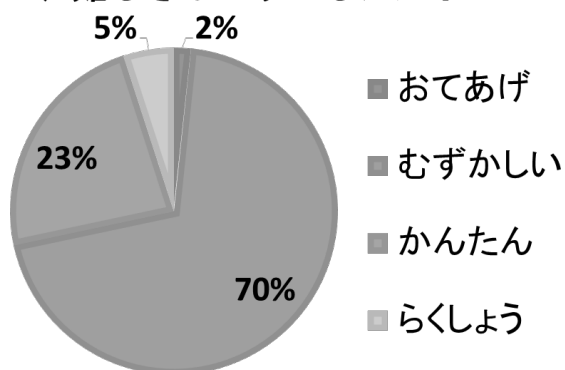
質問 1 から 8 の項目ごとに集計した結果を図 6.に示す。質問 9 の感想については図 7 に示した。質問 1 では小学生と高校生以上が大きな割合を示した。高校生上については当日の様子より大人が多く参加していたためと考えられる。質問 2 では楽しかったが約 9 割を占めており、参加者に楽しんでもらえたと感じた。質問 3 については難しいが 7 割を占めているためポイントラリーの謎解きについて手ごたえを感じてもらえたと考えられる。質問 4 についてチラシとなんともなく合わせて 8 割を占めた。この結果はチラシの当日配布や呼び込みの成果が出ていると考えられる。質問 5 については技術部を知らなかったが約 9 割を占めた。しかし、質問 6 で静大クエストへの参加を通して技術部への理解が深まったのではと考えられる。質問 7 と 8 についてはポイントラリーを進めながらいろいろなイベントへ参加していることがわかる。



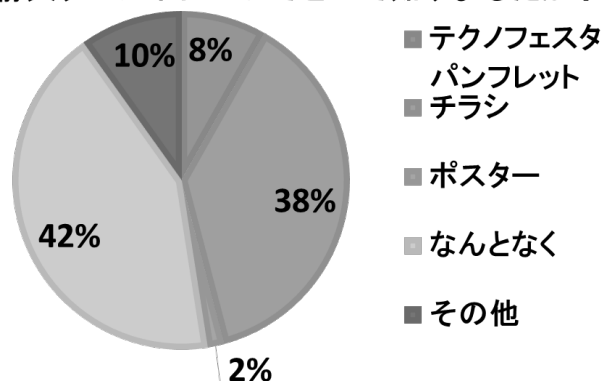
2、静大クエストは楽しかったですか？



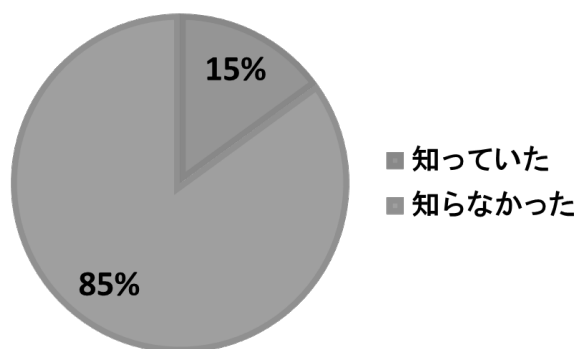
3、難しさはどうでしたか？



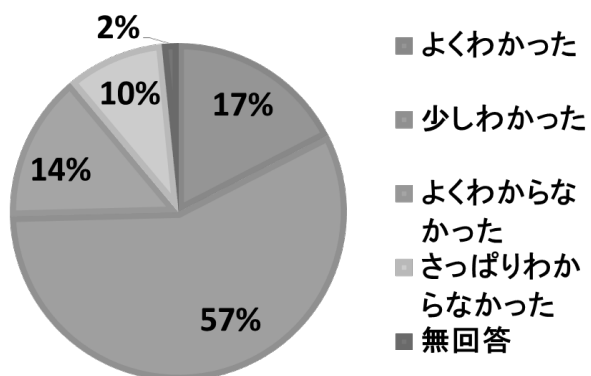
4、静大クエストについてどこで知りましたか？



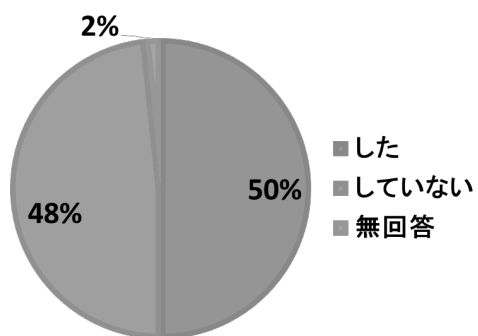
5、技術部を知っていましたか？



6、技術部についてわかりましたか？



7、寄り道をしましたか？



8、どこに寄り道をしましたか？

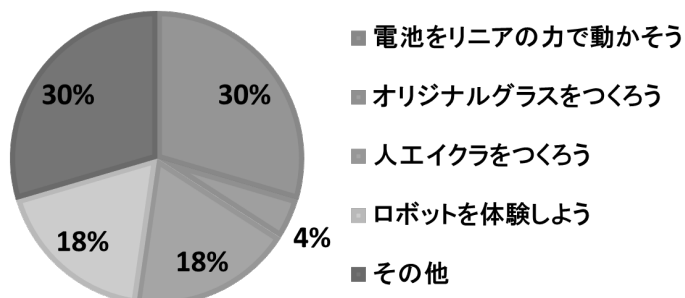


図 6.アンケート集計結果

- 最後のじゃんけんが難しかったです。
- コースターかわいかったです。
- 楽しかったです。今度はもっと難しくしてください。
- 母と一緒に探検できてとても楽しかったです。
- 楽しかったです。
- 静岡大学浜松キャンパスのことをたくさん知ることができました。
- 興奮した。
- 来年度もぜひ挑戦したいです。
- ありがとう！
- じゃんけんと場所を探すのが楽しかった。
- 楽しかったです。またやりたいです。
- とても楽しくさせていただきました。また、来年もやれたらいいです！！
- 楽しかった。もう一回やりたい。
- すごく楽しかったです。
- 最後ちょっと怖かった。
- 疲れた。学校の中を色々回れてよかった。知ることができた。
- 時間がなくて走って疲れた。
- 疲れた。
- ひっかけにやられました。完敗です。
- 最後のひっかけが・・・
- 楽しかったです、魔王はびっくりした。
- 魔王がイケメンでした☆

図 7.参加者の感想

5. まとめ

静大クエストでは部門が異なるメンバーで連絡を取り合い計画する難しさを実感した。また、テクノフェスタ当日では技術部紹介展示ではパネル解説のサポート不足を感じた。今後の課題として次回機会に生かせるようにしていきたい。

6. 謝辞

この様な機会をくださいました、水野統括並びに各部門長の皆様、ゴール場所の提案や企画実現などご尽力いただきました百瀬部門長、スタート場所の提案や会場設営及び当日のスタッフをしていただきました平尾部門長、最後に、当日お手伝いいただきました高澤様、竹内様、清水様、松尾様厚く御礼申し上げます。